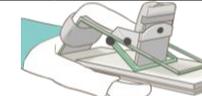


人工膝関節置換術を受ける患者さんへ



患者名	様		担当医		担当看護師						
経過	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5~7日目	術後8~14日目	術後15日目~
日付 / /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
達成目標  <ul style="list-style-type: none"> 手術の必要性が理解でき手術を受け入れることができる 不安の軽減ができ、手術にのぞむことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 体温、脈、血圧が安定する 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みをコントロールできる 合併症（血栓・麻痺）を予防できる ベッド上生活による筋力低下が予防できる 便秘を予防できる 痛みの程度をスタッフと共有できる 	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 痛みが 全くない 想像できる 最高の痛み	<ul style="list-style-type: none"> 転倒しないよう安全にリハビリをすすめることができる ★最終目標は杖歩行 日常生活の中でできることを増やし、退院に向けて準備ができる 心身、環境ともに準備が整い、退院または転院できる 							
治療処置 <ul style="list-style-type: none"> 手術する足にマシクで印を付けます 	<ul style="list-style-type: none"> 手術用の覆巻に着替えます 体温、脈、血圧を測ります 血栓予防のために弾性ストッキングを履きます 	<ul style="list-style-type: none"> 足の血流を促すため空気圧の器械で足を圧迫します 患部の炎症を抑えるため氷嚢で冷やします 医師の指示のもと、酸素マスク、心電図モニターを装着します（心電図モニターで翌朝まで常時心拍を観察します） 1時間ごとに体温、脈、血圧を測ります 	<ul style="list-style-type: none"> 術後12日を目途に創のテープをはがします 								
食事 <ul style="list-style-type: none"> 別紙で説明します 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師がお腹の音を確認します 音がきこえたら水分をとることができます おならが出たら教えてください 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食から普通食を再開します 									
薬剤 <ul style="list-style-type: none"> 普段使っている飲み薬、貼り薬、塗り薬をお持ちください（病院で同じものをすくう用意できない場合があります） 薬剤師が普段飲んでお薬を確認します 	<ul style="list-style-type: none"> 飲むように指示があった薬だけを飲みます 	<ul style="list-style-type: none"> 持続点滴を行います 抗生物質の点滴を行います 鎮痛剤が鼠径部のチューブ通して持続的に注入されています 痛み止め（坐薬、点滴、注射、飲み薬）を追加して随時使うことができます 看護師におたずねください 	<ul style="list-style-type: none"> 抗生物質の点滴を行います 鼠径部のチューブを抜きます 普段飲んでお薬を再開します 鎮痛薬の内服を開始します 	~ 合併症予防のために ~ 【 1. 血栓 】 からだの血管の中でできた血の塊のことを血栓といいます。血栓が血流によって大きな血管を詰まらせることがあり、肺の血管が詰まると息が苦しくなることがあります。手術後はベッド上で過ごす時間が長いので、足の血流が悪くなり血栓ができやすいため注意が必要です。そのため、弾性ストッキングを履き、フットポンプを付け、ベッド上でのリハビリに励みましょう。血を塊にくくするためにお水をたくさん飲みましょう。肺の血流を促すため、深呼吸をしましょう。 【 2. 麻痺 】 足の向きや置き場が悪かったり、枕による固定を強くしすぎたりすることで神経が圧迫され、足の親指と人差し指の間が痺れる、膝の外側に痛みを感じる、足の指を反らすことができない、などの麻痺症状が出る場合があります。							
検査 		<ul style="list-style-type: none"> おたずねください 	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 血液検査の結果により輸血を行う場合があります 	<ul style="list-style-type: none"> 術後7日目に採血、レントゲンがあります 術後14日目に採血・レントゲンがあります 							
安静リハビリ <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 痛みがある場合は看護師と相談し、杖や車いすを使用します 車いすや歩行器の練習、深呼吸、足上げ運動を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です 血栓予防のため足首、足の指を動かしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 病室でリハビリを開始します 立ち上がる練習をします 車いすですリハビリ室へ行き、立ち上がり歩く練習をします 機械を使って膝関節を曲げる運動をします 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みに応じて歩行器で歩きます 機械を使って膝関節を曲げる運動をします 痛みに応じて杖で歩きます 機械を使って膝関節を曲げる運動をします 	痛みなく膝を135度以上曲げることができるようになったら終了です							
トイレ <ul style="list-style-type: none"> 痛みにあわせて身障者トイレ等を使用します 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管が手術中に入ります 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが落ち着き、車いすに乗れるようになったら尿管を抜きます（尿管を抜いた後、数時間あるいは数日経って残尿感や尿が出づらくなる場合があります。あれば看護師に知らせてください） 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みにあわせて身障者トイレ等を使用します 								
清潔 <ul style="list-style-type: none"> マニキュア、ジェルネイルは入院前に必ず落としてください シャワー浴できます（入院前に自宅で入浴を済ませても構いません） 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴できません 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が体を拭きます 洗面用の蒸しタオルを朝、夕お渡しします 手術用の覆巻から普段の覆巻に着替えます 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が体を拭きます 洗面用の蒸しタオルを朝、夕お渡しします（自分で洗面台に行けるようになるまで） 	<ul style="list-style-type: none"> 創を覆ってシャワーに入ります（初回は看護師が付き添います） シャワー浴できます 							
説明指導 <ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院、手術準備、今後の予定について説明します 手術、麻酔について医師が説明します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に関する同意書を確認します （署名後の書類は看護師へお渡しください） 	<ul style="list-style-type: none"> 手術中、ご家族に貴重品の管理をお願いします 手術待合室は本館3階にあります 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が術後の説明をします 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴時の注意点について看護師と確認します 	<ul style="list-style-type: none"> 医師、看護師、薬剤師が退院後の生活やお薬に関する説明をします わからないことがあれば何でも聞いてください 						

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により手術後の経過は様々です。この表より達成が遅れると抱りが悪いということはありません。

※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。